

# 耐震補強材 軽い安い簡単

## 変形しながら粘り強く 木造住宅を守る

鉄を使った建築構造の開発を手掛けるNSハイパーツ（岐阜県可児市）が、名古屋工業大（名古屋）と共同で既存木造住宅のリフォーム向けの耐震補強部材を開発した。従来の施工方法に比べ、簡単に安く住宅の安全性を高められる。

製品の名称は「NS木造耐震デバイス」。最新のプレス技術で厚さ一・二ミリの鋼板を加工した横百センチ、縦五十一・六十センチのH形で、二本の柱の間にねじで取り付ける。強い力が加わっても、変形しながら粘り強く耐える鋼の特性を活用。異なる加工による三つの穴を施すなど独自の形状も取り



### 可児・NSハイパーツが開発

入れることで、横揺れの際に柱の代わりにエネルギーを吸収。部材が変形しても柱は損傷せず、住宅が倒壊しない耐震性を確保できるという。

従来は平均二百三十万円かかる耐震改修が、百万円以下でできるという。天井や床を剥がす必要がなく居住者が住みながら作業を進められることや、製品重量が一枚五キロと軽く施工者一人で済むこと、施工価格が二枚セットで八万円程度と安価であることが理由だ。

同社は日本製鉄の関連会社。二〇一六年度に国土交通省の補助金を受け、名古屋工業大の小野徹郎名誉教

授、佐藤篤司准教授と共同で木造用の耐震部材の開発に着手し、一七年に特許を取得。三月に耐震リフォームの補助金申請が可能となる公的評価を取得した。

十月に販売を始めており、岐阜や愛知、三重県などの中部と関西エリアの計一府二十二県で、建設会社との販売店契約を結んで展開する計画だ。現在は矢橋林業（岐阜県大垣市）など三社と契約を締結している。橋本伸一郎社長（左）は「今まで費用面などでためらっていた人に耐震化を進めてもらい、住宅の倒壊による被害が少しでも減れば」と話した。（織田龍穂）



- ①「NS木造耐震デバイス」を持つ橋本社長＝岐阜県可児市で
- ②耐震補強部材を取り付けた室内